

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------|----|----------------|
| ○事業所名 | 創伸館 放課後デイ 武庫之荘 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年 10月 15日 | | ～ 令和6年 11月 11日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 28 | (回答者数) 14 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和6年 10月 15日 | | ～ 令和6年 11月 11日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和6年 12月 26日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 学習と遊びの切り替えが出来る、環境が整っている。 | 通所して直ぐ学習ルームで課題をすることを習慣化している。プレイルームと学習ルームが別になっているので、集中して学習に取り組む事が出来ている。保護者に好評である。 | 教室内の整理整頓を心掛け、更に過ごしやすい場所にする。 必要に応じて児童がリラックスするためにカムダウンスペースを提供する。 |
| 2 | 各職員の得意分野を活かし、5領域に沿った集団活動を毎日行っている。 | 5領域に偏りが出ないように各人で企画書を作り、集団活動のスケジュール会議にて内容を決定している。(必要に応じて予行練習・ロールプレイングをして当日臨んでいる。)また、SSTと、子どもたちの楽しみとして定期的に調理を取り入れている。保護者より好評を得ており、今後も継続していきたい。 | 現在は、職員が集団活動を企画している。今後は子どもたちの意見も積極的に取り入れ、更に楽しめる集団活動を行っていく。 |
| 3 | 職員間で意見交換を頻繁にし、共通認識のもと支援を行っている。 | 朝礼と昼礼(遅出)にて日々の子どもの様子を共有している。気軽に意見が出来る雰囲気を作っている。 | 継続していく。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域との連携の機会を設けることがむずかしい。 | 地域の行事への参加や商工会議所からの依頼があれば協力することがあるが、時間とスタッフの調整等を考えると積極的な参加は行って来なかった。 | マジックが出来るボランティアをクリスマス会に招き発表の場を提供するなど、地域との交流を深め、開かれた運営をしていく。 |
| 2 | 法人として職員のスキルアップの仕組みが整備されていない。 | 個人へのスキルアップの指針が無い。新人研修も法人として徹底して行われていないので、個人の目標が立てづらい。 | 法人でやスキルアップにつながる指針を作り人材育成をすることで、スタッフのモチベーションへとつなげる。社協等の外部研修にも積極的に参加をしていく。 |
| 3 | 保護者同士で交流する場が無い。 | 今まで特に保護者より要望も無く保護者同士やきょうだい同士で交流する機会は設けて来なかった。 | 今後、子どもたちの集団活動参観日を予定している。(その後、茶話会の席を設け保護者同士の交流を図る。) |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 創伸館 武庫之荘校

公表日 令和6年12月28日

利用児童数 28

回収数 14

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------------------|---|----|---------------|-----|-------|-----|--|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 13 | 1 | 0 | 0 | — | 学習スペースとプレイルームが分かれており、訓練に応じた環境を設置している。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 10 | 1 | 0 | 3 | — | 人員基準を満たし、安全を優先してサービスの質を確保している。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 9 | 2 | 0 | 3 | — | 障害の特性に応じて、活動内容の説明やスケジュールを視覚化している。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 13 | 1 | 0 | 0 | — | 毎日清掃、消毒、換気を行い清潔な環境を維持している。こどもが安心して過ごせる雰囲気や生活空間を確保している。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | — | 保育士・教職を持っている職員を児童指導員として配置し支援に当たっている。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | — | (事業所が公表している) 支援プログラムに沿って、支援を提供している。 |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | — | こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、個別支援計画を作成している。 |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | — | 本人の状況に応じて「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を適切に設定して支援をしている。 |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | — | 職員は個別支援計画の内容を理解した上で適切な支援を行っている。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 13 | 1 | 0 | 0 | — | 職員の得意分野を活かし、5領域を意識した企画を毎日提供している。 |
| 保護者 への 説明 等 | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 11 | 2 | 0 | 1 | — | 季節のイベントに放課後児童クラブの児童と交流する機会を設けている。 |
| | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | — | 契約時に5領域に沿ったプログラムや利用者負担等について説明をしている。 |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | — | こどもに必要な支援を考え計画書には本人や保護者が分かりやすいように具体的な支援内容を記載し説明をしている。 |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 10 | 1 | 1 | 2 | — | 今後職員がペアトレの研修を受講し、スキルを習得した上で保護者を対象にした研修会を実施する。また、行政や民間団体が主催する保護者向けの研修があれば情報を提供する。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | — | 送迎時で対面、またはLINEで保護者とのやり取りの中で共有理解を図っている。 |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 13 | 0 | 1 | 0 | — | 保護者から相談を受けた際は、適切に対応し、必要な助言を行う。 |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | — | 引き続き保護者の意見を傾聴し共感的に支援を行う。 |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 3 | 3 | 3 | 5 | — | こどもたちの集団活動参観日を予定している。(その後茶話会の用意をし保護者同士の交流を図る。) |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|---|--|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 13 | 0 | 0 | 1 | — | 子どもや保護者からの相談の申し入れについて対応の体制を整備し、迅速かつ誠実に対応する。また、相談対応について保護者に周知する。 |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 13 | 1 | 0 | 0 | — | 障害の特性に応じて、活動内説明やスケジュールを視覚化している。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 11 | 0 | 1 | 2 | — | 法人としてHPに月1回各校舎の様子をブログで紹介している。保護者向けに週1回「障害児の療育について」発信している。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | — | 契約時に個人情報の取り扱いについて説明し、同意を得ている。個人情報は鍵付きの書庫に適切に保管している。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 12 | 0 | 0 | 2 | — | 契約時に保護者に説明する。また、安全計画の更新ごとに説明する。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 11 | 1 | 0 | 2 | — | 定期的に非常災害発生に備えた避難訓練を実施する。実施後は訓練の実施状況を保護者に周知する。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 13 | 1 | 0 | 0 | — | 今後安全計画のための訓練等、前もって保護者に書面で周知していく。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 12 | 0 | 0 | 2 | — | 契約時、重要事項説明書の中で「事故発生時の対処方法について」説明をしている。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 12 | 2 | 0 | 0 | — | 子どもの安全を最優先に見守りを徹底している。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 11 | 3 | 0 | 0 | — | 子どもたちに「やりたい事」の意見を募り取り入れていく。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 13 | 1 | 0 | 0 | — | 子どもに対しては、個別支援計画に基づいてニーズに即した支援を行っている。保護者に対しては、支援の状況を報告し家庭と連携して支援を行っている。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 放課後等デイサービス 創伸館 武庫之荘校 | | 公表日 | | 令和6年 12月 28日 | |
|---------|----------------------|---|-----|---------|--|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | 0 | ・学習室と遊び部屋が分かれている点。 ・活動ごとでスペースを分けて集中しやすい環境になっている。 ・定員に対してスペースは適切である。 | ・カムダウンスペースを確保する必要がある。(必要に応じて) |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 8 | 0 | ・職員の配置数は適切。 | ・課題の対応の職員と遊びの担当の職員で等々アンバランスになる事がある。(特に送迎時職員数が少なくなる時) |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 7 | 0 | ・ブレイルーム、学習ルームを分けている。 ・低学年の利用者が増えているので、配布物や掲示物にふりがなをつけている。 ・活動予定をホワイトボードに記入している。 ・空間も構造化した環境になっている。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 1 | ・トイレの臭気は以前に比べて改善している。 ・毎日清掃し清潔な環境である。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | 2 | ・課題を落ち着いて出来る部屋があり、マットが敷かれている所はリラックスできる。 ・こどもの状況に応じて対応できる環境である。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 6 | 1 | ・一日の中で児発管と定期的に利用者や職員の事で、改善点などを共有している。 ・正社員を中心に定期的に話し合いが持たれている。 ・全職員が課題を共有し、改革意識を持って取り組んでいる。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | ・保護者の意見を取り入れて、業務改善を図っている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | 0 | ・パート職員の意見を正社員が拾いあげ、改善に向けた働きかけをしている。 ・ミーティングなどで意見交換して、業務改善を図っている。 | ・朝礼や昼礼等の機会を用いて出来ているが、必要があればいつでも声掛けしてもらいやすい雰囲気にした。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 2 | 5 | | ・相談支援員を第三者として評価してもらった機会があってもいい。 ・第三者機関による外部評価は行っていない。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | 1 | ・毎月他校含め実施されている。法人からの案内で、外部の研修に参加した。 ・内部、外部研修を実施している。 | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | 2 | ・毎月集団活動の内容を考え、カレンダーで見られるようにしている。五領域にあてはめている。 | ・支援プログラムは作成済みであり、公表の準備を進めている。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | 0 | ・個別支援を作るにあたり、ひとりひとり時間をかけて会議している。 ・アセスメントシートを活用して漏れなくアセスメントを行い、ニーズや課題を分析して計画を作成している。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | 0 | ・個別支援会議や朝礼・昼礼を利用して支援の改善点を共有している。 ・支援計画作成前に、前回の支援計画の達成状況を確認して支援内容を検討する会議の開催をしている。 ・作成会議に複数の職員が参加し、検討を行っている。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | 1 | ・計画は職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。 | ・パート職員向けに、支援計画を簡素化したものを提示して共有する取り組みが必要か。 |

| | | | | | | |
|------------|--|--|---|--|---|---|
| 適切な支援の提供 | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | 1 | | ・現状フォーマルなアセスメントをとることの出来るスタッフが在籍していないため行っていないが、今後は状況によっては必要な場面もあると考えられる。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | 0 | ・ガイドラインに則った支援内容を具体的に設定している。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | 0 | ・前月の月末をめどに、活動プログラムの立案会議を開催している。 ・活動プログラムは、全職員が参画しチームで行っている。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | 0 | ・ほとんど毎日実践している。職員によって内容が違う。同じプログラムでも定期的に題材が変わる。 ・季節に応じたイベント活動や子どもたちの支援に必要な活動を適宜盛り込んでいる。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 8 | 0 | ・こどもの状況に応じて、個別と集団活動を組み合わせて実施している。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 8 | 0 | ・朝礼（昼礼）を実施している。 ・毎日朝礼で支援内容の打ち合わせをし、パート職員には昼礼時に支援内容の共有と役割分担などの確認を行っている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 3 | ・支援記録の記入時や翌日以降の朝礼（昼礼）にて共有している。 ・随時振り返りを行っている。 | ・支援が終わったタイミングでは、送迎で職員が抜けてしまい振り返りが十分に行えない時がある。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 8 | 0 | ・利用者の帰宅後に支援記録を書いている。 ・記録の書き方に関して、職員間で統一して支援の検証に繋げる形を取っている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | 0 | ・半年以内に行う形を取り、そこで支援の見直しを行っている。 ・定期的にモニタリングを行っている。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 6 | 1 | ・4つの基本活動を複数組み合わせ支援を行っている。 | ・地域交流の活動においてはあまり行っておらず、ボランティアに参加してもらって体験活動を検討してもよいと思われる。 |
| 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 7 | 0 | ・自己決定が苦手な利用者に対して、予測できる答えの選択肢を与えるなど。 ・こどもに考える機会を与え、自己決定する力を育てるための支援を行っている。 | | |
| 関係機関や保護者との | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | 1 | ・サービス担当者会議などが開催される際には、児発管が参加するようにしている。 ・こどもの状況を理解した職員が参画している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | 2 | ・各関係機関と連携して支援を行う体制を整備している。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 7 | 0 | ・学校送迎などの際に、先生とやり取りを随時行っている。 ・学校と情報共有、連絡調整を適切に行っている。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 1 | 6 | | ・情報共有等の連携は積極的に行っていない。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 1 | 6 | | ・卒業後、デイから障害福祉サービス等への移行の実績がない。 ・これまで、障害福祉サービス事業所を利用する児童がいないため連携していない。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 1 | 5 | | ・児発センターとの連携は図っていない。 |

| | | | | | | |
|----------|---------------------------------------|--|---|---|--|---|
| 連携 | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 5 | 3 | ・併設の児童ホームと合同でイベントや遠足を行っている。 | |
| | 33 | (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 | 1 | 5 | ・定期的に自立支援協議会に参加している。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | 0 | ・送迎時や、社用携帯で(LINE)のやり取りをしている。 ・日頃から保護者に対して、状況や様子を報告している。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 2 | 4 | ・ハンモックさんと共同で、保護者も参加した研修を実施。 ・子供向けの訪問看護ステーションの職員を招いて、不登校児向けの内容の講演。 | ・保護者へのペアトレや研修の機会の情報提供は現在のところ積極的には行っていない。 |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | 1 | ・児発管が面接で行っている。 ・契約の際に説明している。 | ・支援プログラム完成後説明を行う必要はある。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | 0 | ・モニタリングの機会を活用し、家族等の意向を確認する機会を設けている。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7 | 0 | ・計画書を提示して説明を行い、同意を得ている。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | 0 | ・相談の依頼があれば、面談を実施している。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 0 | 7 | | ・特に保護者から、そのような機会を望む声はあがってはいないが、今後、こどもたちの集団活動参観日を予定している。(その後、茶話会の席を設け保護者同士の交流を図る。) |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | 0 | ・児発管からの情報共有で朝礼(昼礼)で話し合っている。 ・苦情対応の体制を整備し、迅速に対応出来るようにしている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | 0 | ・インスタグラムにて教室の様子を発信(不定期)。集団活動予定カレンダーを教室に掲示している。 ・HPやSNSを活用して、こどもや保護者に発信している。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 8 | 0 | ・書類などは鍵付きのキャビネットに保管している。 ・保護者の同意を得て、適切に取り扱っている。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 8 | 0 | ・遠足や行事のチラシの改善を行った。 ・状況に応じて、スケジュールボードや筆談などを行っている。 | |
| 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1 | 6 | | ・マジックが出来るボランティアをクリスマス会に招き発表の場を提供するなど、今後、地域との交流を深め開かれた事業運営をしていく。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | 1 | ・警察官を招いて、不審者発生時の訓練を行った。 ・各種マニュアルを職員や保護者に周知し、訓練を実施している。 | |
| | 47 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | 0 | ・長期休暇中に、ゲリラ豪雨を想定した避難訓練を実施している。 ・BCPを作成し、必要な訓練を実施している。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 7 | 0 | ・契約時のアセスメントで確認をしている。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。 | 7 | 1 | ・事前にアレルギーの有無を確認し、適切に対応している。 | ・現状該当する児童はいない。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 8 | 0 | ・安全計画を作成し、研修や訓練を実施している。また、安全管理の下支援を行っている。 | |

| | | | | | | |
|--------|----|--|---|---|--|-------------------------------|
| へ 応 | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | 1 | ・安全計画に基づく取組内容を、家族等に周知している。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 8 | 0 | ・ヒヤリハットを共有し、再発防止に取り組んでいる。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 8 | 0 | ・今年度は四月に虐待に関する研修を実施。 ・虐待防止の研修を実施している。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 | 1 | ・保護者に対して、身体拘束に関する同意を得て適切に対応している。 | ・計画への記載は行えていないため、今後記載は必要と考える。 |